

第3回気象ビジネスフォーラム開催報告

気象ビジネス推進コンソーシアム(WXBC)の1年間の活動を総括するイベントとして、平成31年2月28日(木)に東京都千代田区の一橋講堂において「第3回気象ビジネスフォーラム～気象データが拓く未来のビジネス～」を開催し、会員・非会員あわせて約430名の方にご参加いただきました。また、石井 啓一 国土交通大臣、工藤 彰三 国土交通大臣政務官、気象業務振興議員連盟会長の古屋 圭司 衆議院議員に、ご来賓としてお越しいただきました。

冒頭、ご来賓の石井国土交通大臣及び古屋衆議院議員からの開会挨拶に続き、WXBC会長の東京大学大学院情報学環 越塚 登 教授から開会の挨拶がありました。



<石井国土交通大臣による開会挨拶>



<古屋衆議院議員による開会挨拶>



<越塚 WXBC 会長による開会挨拶>



<司会の植木奈緒子気象予報士>

フォーラムでは、気象ビジネス創出に関する1年間の成果発表として、人材育成ワー

キンググループ（WG）と新規気象ビジネス創出 WG の1年間の取り組みの紹介、気象データを活用したビジネス事例の紹介、気象ビジネスの展望に関するトークセッションを行いました。併せて、気象、IT、製造業等の WXBC 会員によるブース展示を行いました。

気象ビジネス創出に関する1年間の成果発表では、人材育成 WG から座長である AITC の田原 春美 氏の WG 活動と成果の概要紹介に続き、同 WG で企画・運営を行ったデータテクノロジー研修「メッシュ気象データ分析チャレンジ！」について、メインの講師を務められた（国研）農業・食品産業技術総合研究機構の大野 宏之 氏より「最新の気象データをより多くのビジネスに」と題して、気象庁の数値予報モデルデータの処理の様子からそれを用いたグループワークの概要をご紹介いただきました。また、同 WG における「気象×IoT 勉強会」での成果について、（株）日立製作所の米澤 恵 氏より、IoT を活用したスマートアンブレラをご紹介いただきました。さらに、新規気象ビジネス創出 WG から座長である（株）三菱総合研究所の村上 文洋 氏より、「第1回気象ビジネスマッチングフェア」や「気象データの利活用事例集（2018年版）」についてご紹介いただきました。

気象データを活用したビジネス事例の紹介では、（株）JTB 様より「旅のミライへ！～「観光」が日本の基幹産業になるために～」と題して、最長6か月先までの宿泊者予測等を提供している「観光予報プラットフォーム」などの取り組みについて、（一社）全国清涼飲料連合会様より「飲料製造業における気象情報活用について」と題して、清涼飲料のサプライチェーンマネジメント等について、（株）ハレックス様より「霧プロジェクト」と題して、北海道における牧草の生産性向上のための取り組みについて、三菱重工業（株）様より「次世代航空機運航支援システムの開発」と題して、航空機の効率的な航路設定に向けた取り組みについて、それぞれご紹介いただきました。



<（株）JTB 様>



<（一社）全国清涼飲料連合会様>



< (株) ハレックス様 >



< 三菱重工業 (株) 様 >

トークセッションでは、AI 等の先端技術を活用した気象ビジネスの展望について、である越塚会長をコーディネーターに、AI 研究のトップランナーである松尾 豊 東京大学大学院工学系研究科特任准教授、AI を用いて天候に応じたファッションを提案するサービス「TNQL」(テンキュール) を展開している (株) ルグランの泉 浩人 共同 CEO、気象庁の橋田 俊彦 長官の 4 名で、AI 分野での気象データ利活用や AI による天気予報の可能性などについて意見交換を行いました。

閉会時には、工藤国土交通大臣政務官よりご挨拶をいただき、その後、越塚会長等とともに集合写真の撮影を行いました。



< トークセッションの様子 >



< 松尾豊東大大学院特任准教授 >



<工藤国土交通大臣政務官による挨拶>



<集合写真>

フォーラムでは、シンポジウムと併せてブース展示を開催しました。ブース展示では34の企業等にポスターや製品の展示、サービス内容の説明等を行っていただき、さらに、参加者同士が情報交換をしやすいよう、マッチングスペースを設けました。

展示会場内では、多数の来場者と出展者が展示内容について熱心に意見交換を行っていました。また、石井国土交通大臣、工藤国土交通大臣政務官、古屋衆議院議員にも展示会場をご視察いただき、出展者に質問される場面もありました。



<説明を聞かれる石井国土交通大臣>



<説明を聞かれる工藤政務官>

今後も、WXBCは、気象データの提供・利活用促進、気象データを扱える人材の育成支援、新規気象ビジネスの創出支援に積極的に取り組んでいきます。